

「ひめの」の薬剤管理について

ゾイシアンジャパン(株)開発室

月	薬剤分類	商品目	薬量/1000㎡	水量/1000㎡	注意事項
1月	茎葉処理型除草剤	トリメックF液剤	600cc	150ℓ	休眠期での除草剤の薬害は少なく、ラウンドアップを3月上旬に撒布しても萌芽への影響はありませんでした(当社研究室調査による)。但し、芝の伸びへの薬害までは不明。 問題ないとは思いますが、左記2剤は冬季の残効が長い(2~4ヶ月)ので、必要最低限の場所だけスポット撒布すべきです。イネ科雑草がなければシバゲンは撒かない方が良いでしょう。
	茎葉処理型除草剤	シバゲン水和剤	50g	(混合)	
2月、3月					
4月	土壌処理型除草剤	インプールDF	30g	300ℓ	芝への薬害の少ない左記2剤を最低薬量で施用します。茎葉処理効果もあるので、希釈倍率は高い方がより安全です。水の確保が必要です。 オルトランは浸透移行性の殺虫剤で、残効も長めです。シバツトガ、スジキリヨトウだけではなく、ダニにも効果があります。葉巻病は萌芽時期からみられるのでこの時期が効果的です。他の薬剤も使えますが、オルトランは魚毒性A類で安全といえます。散布方法は散粒器、ブロードキャスター等で撒け、水の確保は不要です。
	土壌処理型除草剤	フェナックスフロアブル	100cc	(混合)	
	殺虫剤	オルトラン粒剤	10kg	粒状	
5月、6月					
7月	茎葉処理型除草剤	MCPP液剤	500cc	200ℓ	土壌処理剤の残効が切れてくる頃。薬害を抑えるために水量多めにスポット散布。芝が張り閉じていれば、薬量を増やしても良いでしょう。大きな草は散布後手取り除草してください。
	茎葉処理型除草剤	シバゲン水和剤	40g	200ℓ	
8月	殺虫剤	シラトップEW	150cc	300ℓ	
9月	土壌処理型除草剤	インプールDF	50g	300ℓ	土壌処理剤2剤とともに茎葉処理効果があるが、カタビラは3葉までしか効かないので、カタビラがやや大きくなっていた場合はハーレイDFを混ぜます。 イカルガSCは残効が長いリゾクトニア病菌の殺菌剤で、10月に入ってから撒けば翌春の春はげ症を予防できます。病気が蔓延している場合はこれにバリダシンを混用します。
	土壌処理型除草剤	カーブ水和剤	500g	(混合)	
	殺菌剤	イカルガSC	200cc		